

ダニエル
聖徒伝 218

救しの時代に 救しを宣言しよう

ダニエル書9章

七十週のメシア預言

Shikaoichurch.com

アウトライン

0. イントロダクション

I. 罪の告白と嘆願の祈り 1～19節

II. 七十週の預言 20～27節

III. まとめと適用

赦しの時代に赦され

赦しを宣言しよう

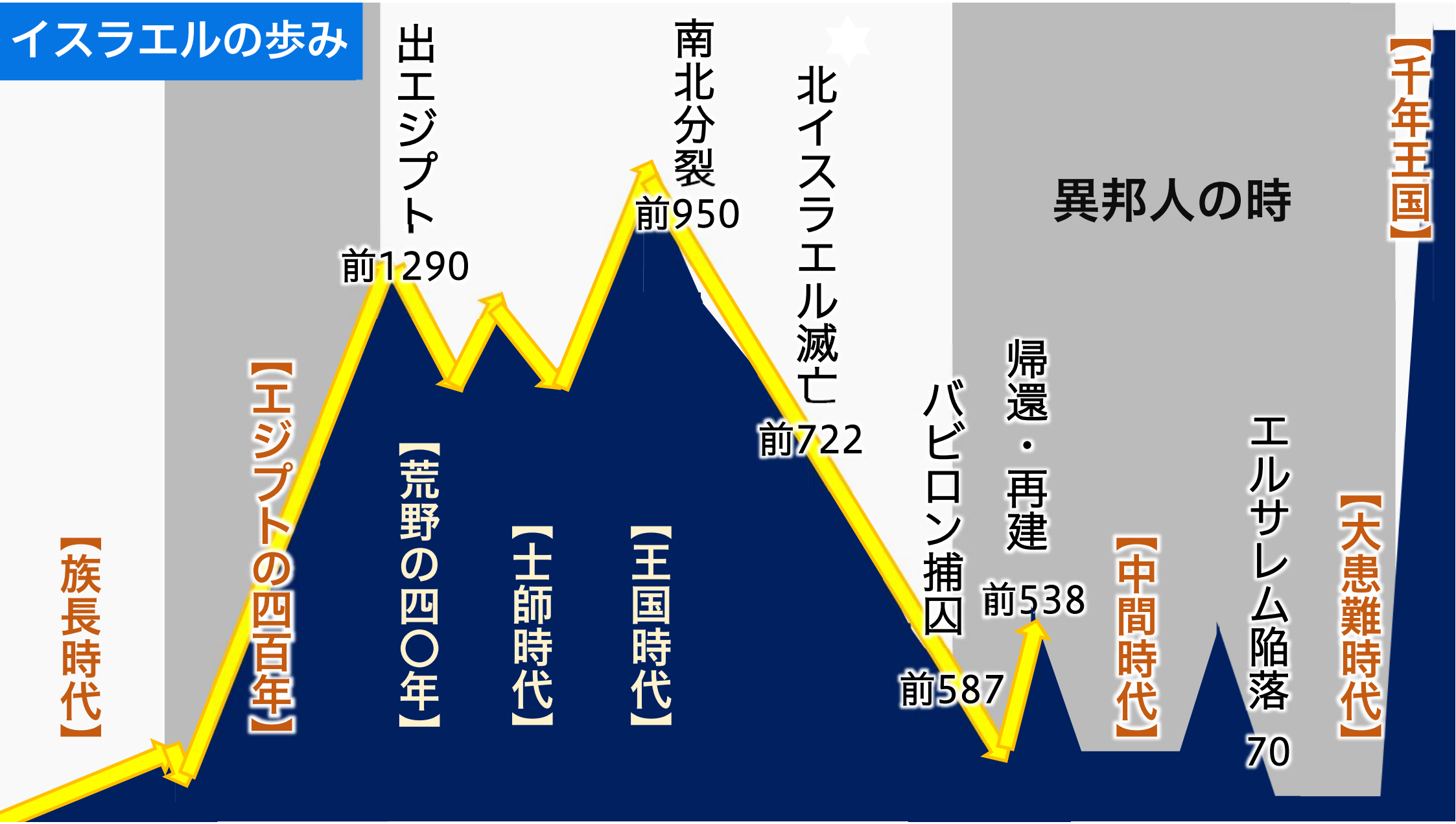
聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会





0. イントロダクション

イスラエルの歩み



【族長時代】

【エジプトの四百年】

【荒野の四〇年】

【士師時代】

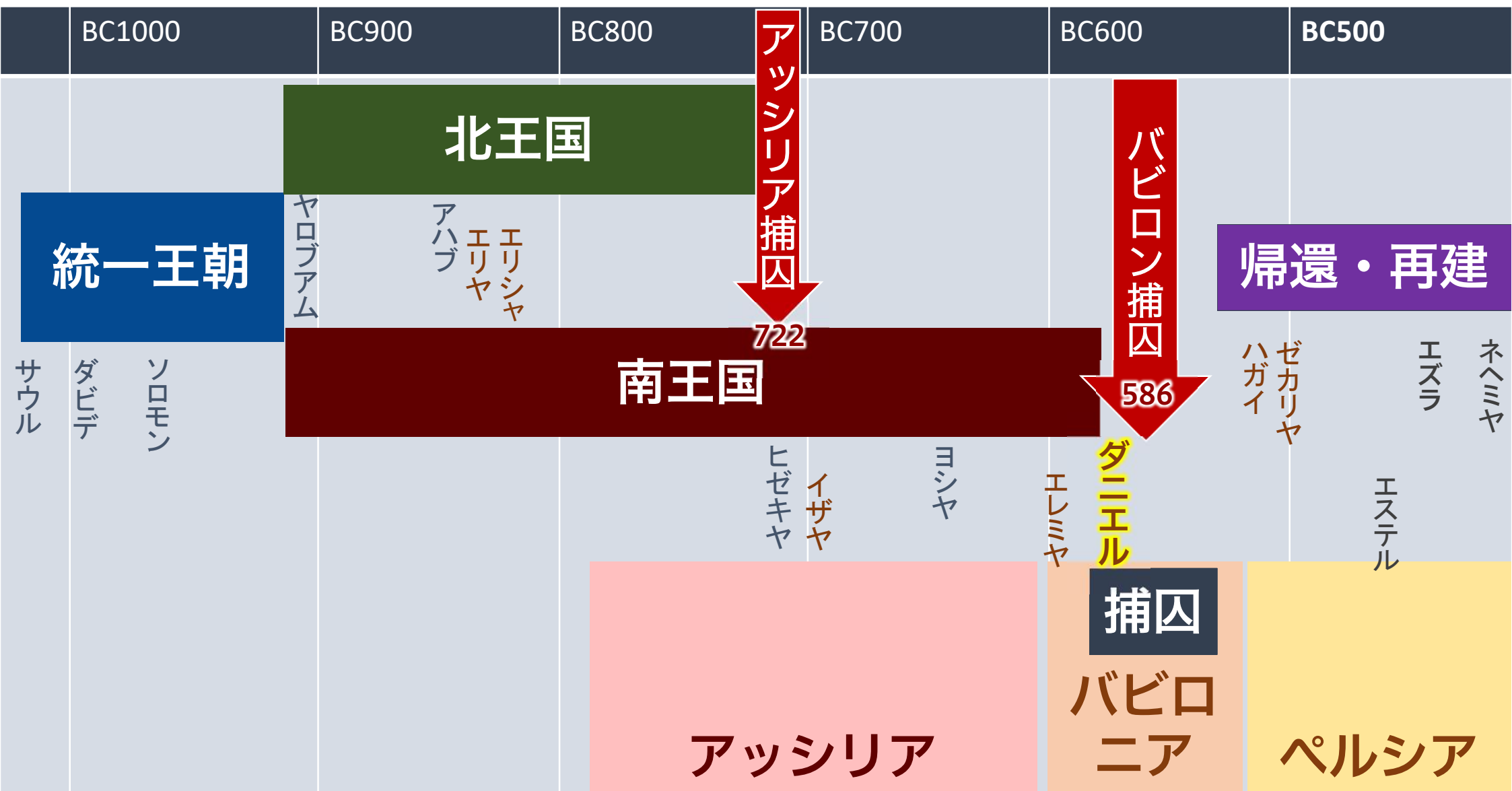
【王国時代】

【中間時代】

【大患難時代】

【千年王国】

イスラエル王国史



ダニエル書の構成

章	記述	言語	王国	王	内容
1章	歴史	ヘブル語	バビロニア	ネブカドネツアル	ダニエルの召命
2章		アラム語			つぎはぎの像
3章					炉に入れられた3人
4章					ネブカドネツアルの回心
5章					ベルシャツアル
6章			ペルシア	ダレイオス	ダニエル、ライオンの穴へ
7章	預言		バビロニア	ベルシャツアル	四頭の獣
8章		ヘブル語			雄羊と雄山羊の幻
9章			ペルシア	ダレイオス (キュロス)	70週の預言
10章					天の御使い
11章					ペルシアの運命
12章					終わりの時

9章の背景

- ネブカドネツアル王の死後、バビロニアは混沌とし、次々と王が入れ替わり、混沌を深めた。
- 黄昏のバビロンで、晩年のダニエルは四頭の獣の幻を見、その2年後、御羊と雄山羊の幻を見た。
→ 世界帝国の変遷とメシアと反キリスト
- バビロン陥落前夜に、ダニエルは復帰。
旧バビロニア領の王となったダレイオスに仕えた。
- キュロス王による捕囚からの解放は間近に迫る。



【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



【預言者たちの告げたこと】

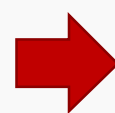


南北時代

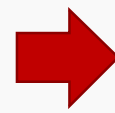


① 直近の
苦難

メシア初臨



② 主の日
大患難時代



③ 回復
メシア再臨

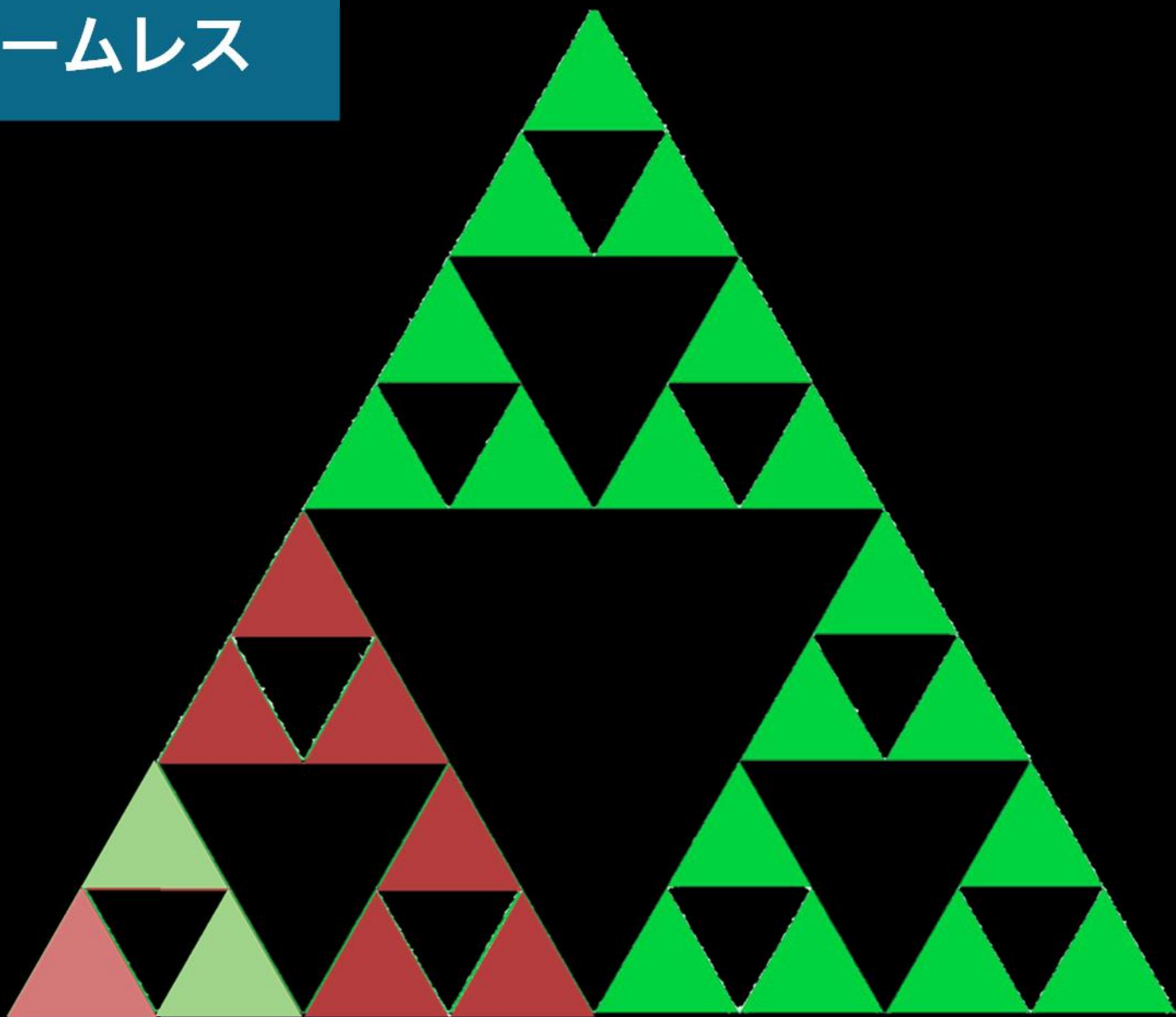
預言はフラクタルでシームレス

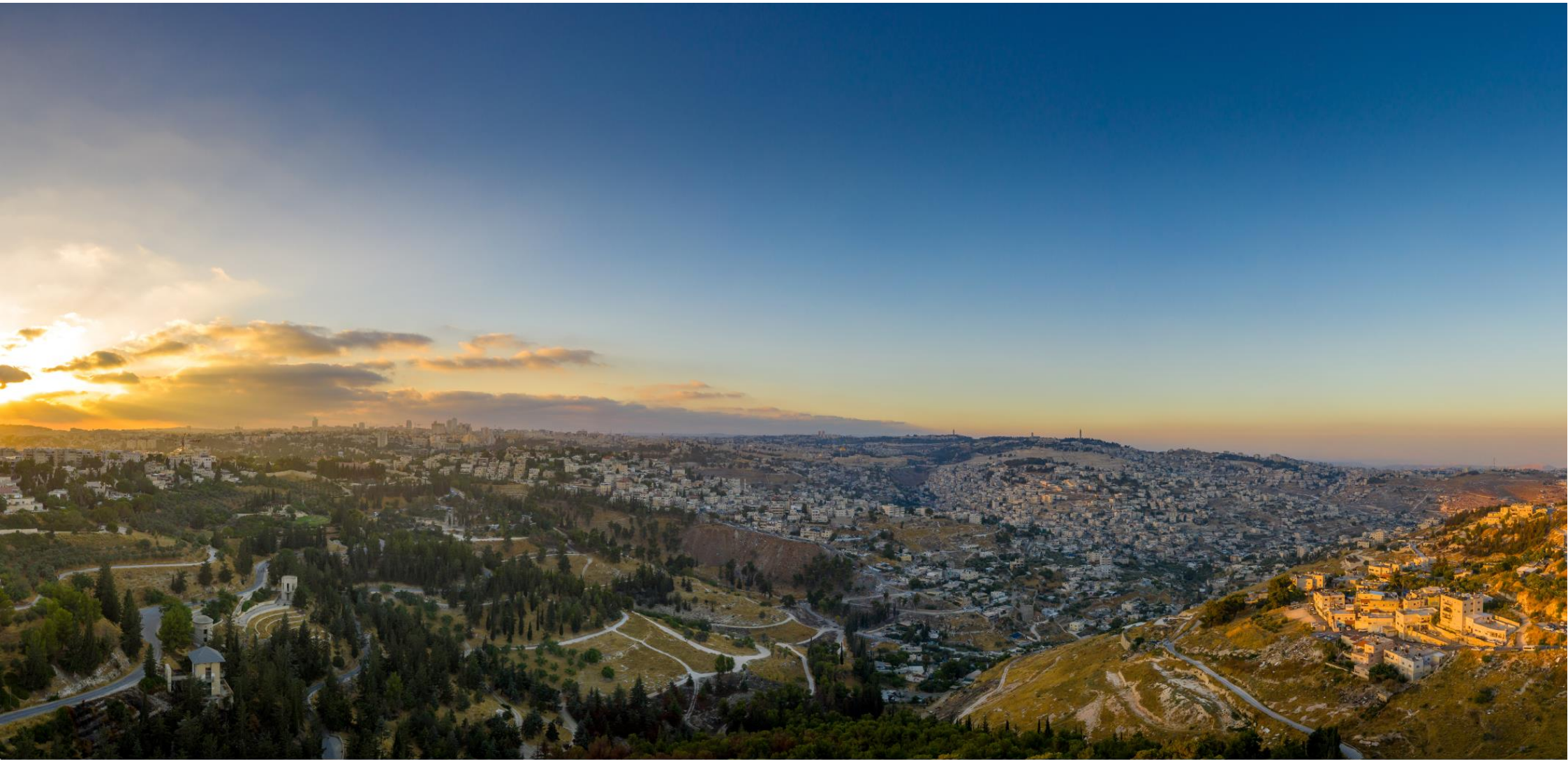
最終的回復 →

最後の裁き →

一時的回復 →

一時的裁き →





I. 罪の告白と嘆願の祈り

ダニエル書9章1～19節

エルサレム近郊

告白 迫る解放の時 ダニエル9:1~2

メディア族のクセルクセスの子ダレイオス*が、カルデア人の国の王となったその元年、すなわち、その治世の第一年に、私ダニエルは、預言者エレミヤにあった【主】のことば*によって、エルサレムの荒廃の期間が満ちるまでの年数が七十年*であることを、文書によって悟った。

*キュロス王が任命

*エレミヤ25:11~12、29:10

*第一次捕囚(BC605)から67年。

➡解放(キュロスの勅令)は間近!!



70年の解放の預言

■エレミヤ書25:11

この地はすべて廃墟となり荒れ果てて、これらの国々はバビロンの王に**七十年**仕える。

七十年の終わりに、わたしはバビロンの王とその民を——【主】のことば——またカルデア人の地を、彼らの咎のゆえに罰し、これを永遠に荒れ果てた地とする。

■エレミヤ29:10

まことに、【主】はこう言われる。『バビロンに**七十年**が満ちるころ、わたしはあなたがたを顧み、あなたがたにいつくしみの約束を果たして、あなたがたをこの場所に帰らせる。』

聖キュロス王に関する預言

■イザヤ書44:28

キュロスについては『彼はわたしの牧者。わたしの望むことをすべて成し遂げる』と言う。エルサレムについては『再建される。神殿はその基が据えられる』と言う。

■イザヤ書45:1

【主】は、油注がれた者**キュロス**についてこう言われる。

「わたしは彼の右手を握り、彼の前に諸国を下らせ、王たちの腰の帯を解き、彼の前に扉を開いて、その門を閉じさせないようにする。

告白 断食の祈り ダニエル9:3～4

そこで私は、顔を神である主に向けて断食をし、粗布をまとって灰をかぶり*、祈りと哀願をもって主を求めた。

私は、私の神、【主】に祈り、告白した。

「ああ、私の主、大いなる恐るべき神。あなたを愛し、あなたの命令を守る者には、契約を守って恵みを下さる方*。」

*嘆き、悔い改め…イスラエルのとりなし

*主の恵みの契約が、神の民の祈りの根拠

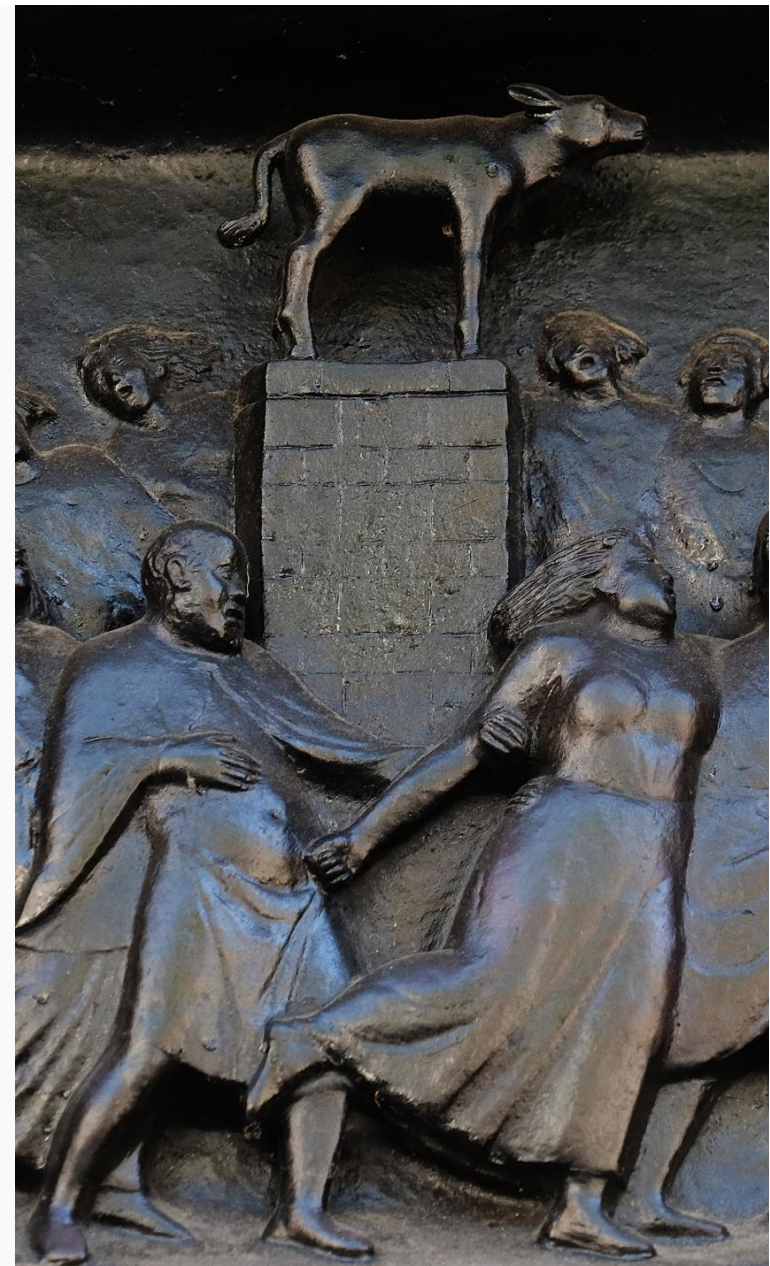


告白 民の不従順 ダニエル9:5～6

私たちは罪ある者で不義をなし、悪を行って逆らい、あなたの命令と定めから外れました。

私たちはまた、あなたのしもべである預言者たちが、御名によって私たちの王たち、首長たち、先祖たち、民衆すべてに語ったことばに、聞き従いませんでした。

- 預言者が告げた神の警告に従わず、偶像礼拝を重ねた結果が、バビロン捕囚
➔ イスラエルを代表して罪を告白



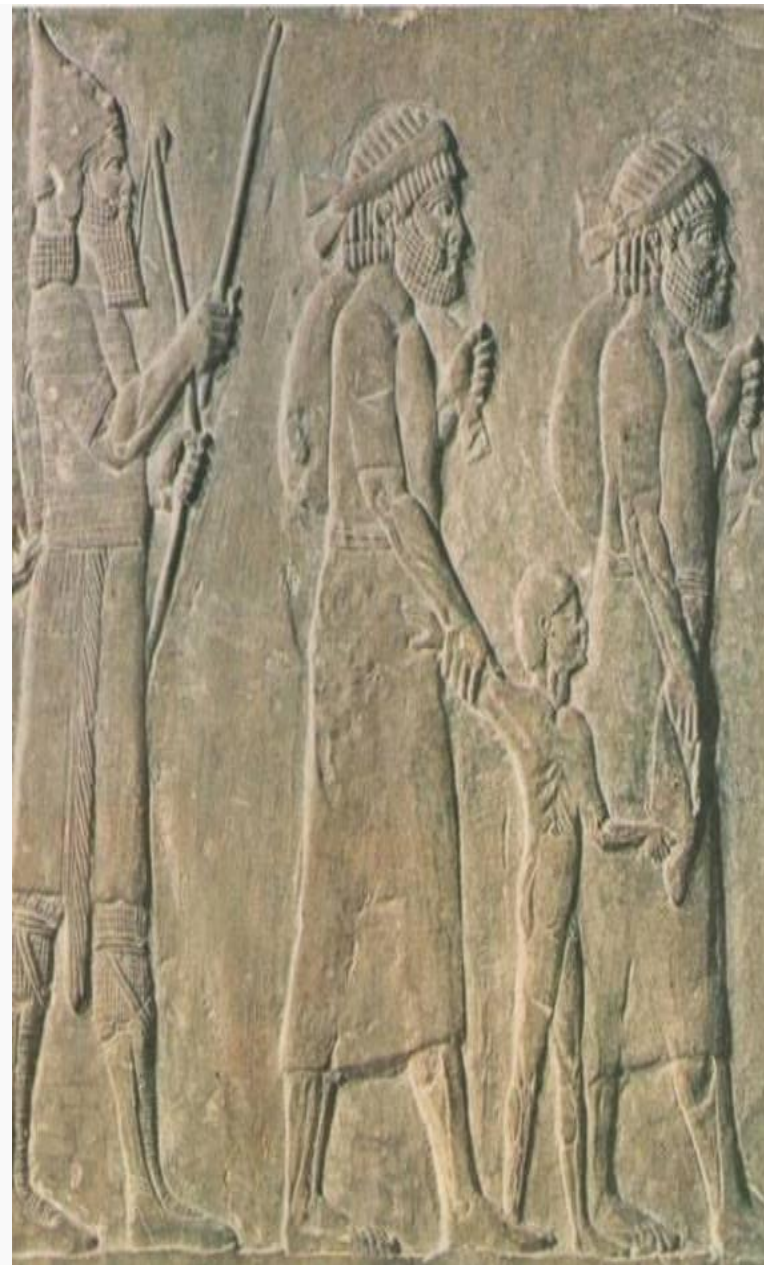
告白 民の恥 ダニエル9:7

主よ。義はあなたにあります。顔をおおう恥*は私たちにあります。今日あるとおり、それはユダの人々、エルサレムの住民にあり、また、近くであれ遠くであれ、あなたが追い散らされた先のあらゆる国々にいる、すべてのイスラエルにあります。彼らがあなたの信頼を裏切ったためです。

*恥とされる → 神に見放されること

■ イスラエルは、不信仰ゆえ、恥を受けた。

→ 契約の一方的な恵みに支えられている



告白 民の罪 ダニエル9:8～9

【主】よ。顔をおおう恥は私たちにあり、私たちの王たち、首長たち、および先祖たちにあります。私たちはあなたに対して罪を犯してきました。

あわれみと赦しは、私たちの神、主にあります。まことに、私たちは神に逆らいました。

■ イスラエルの王も指導者も先祖たちも、主に対する罪を積み重ねてきた。

➡ ただ主の憐れみにすぎるだけ



告白 律法ののろい ダニエル9:10～11

私たちは、私たちの神、【主】の御声に聞き従わず、しもべである預言者たちによって神が私たちに下さったみおしえにも、従って歩むことをしませんでした。

イスラエルはみな、あなたの律法を犯して離れ去り、御声に聞き従いませんでした。そのため、神のしもべモーセの律法に書かれているのろいの誓い*が、私たちの上に降りかかりました。私たちが神の前に罪ある者であったからです。

*申命記27～28章



モーセの律法で預言されていた捕囚の苦難

■ 申命記28:36～37

【主】は、あなたと、あなたが自分の上に立てた王とを、あなたも、あなたの先祖たちも知らなかった国に行かせる。あなたはそこで木や石の、ほかの神々に仕える。

【主】があなたを追いやられる先の、あらゆる民の間で、あなたは恐怖のもと、物笑いの種、なぶりものとなる。

告白 わざわい ダニエル9:12

神は、**大きなわざわい***を私たちにもたらすことで、かつて私たちと、私たちを治めた指導者たちに対して告げられたみことばを成就されたのです。エルサレムの上に下ったほどのわざわいは、今まで天下になかったことです。

***バビロン捕囚**



告白 わざわいの後も ダニエル9:13

このわざわいはすべて、モーセの律法に書かれているとおり*に、私たちの上に下りました。しかし私たちは、不義から立ち返って、あなたの真理によってさとくなれるように、自分たちの神、【主】に願うこともありませんでした。

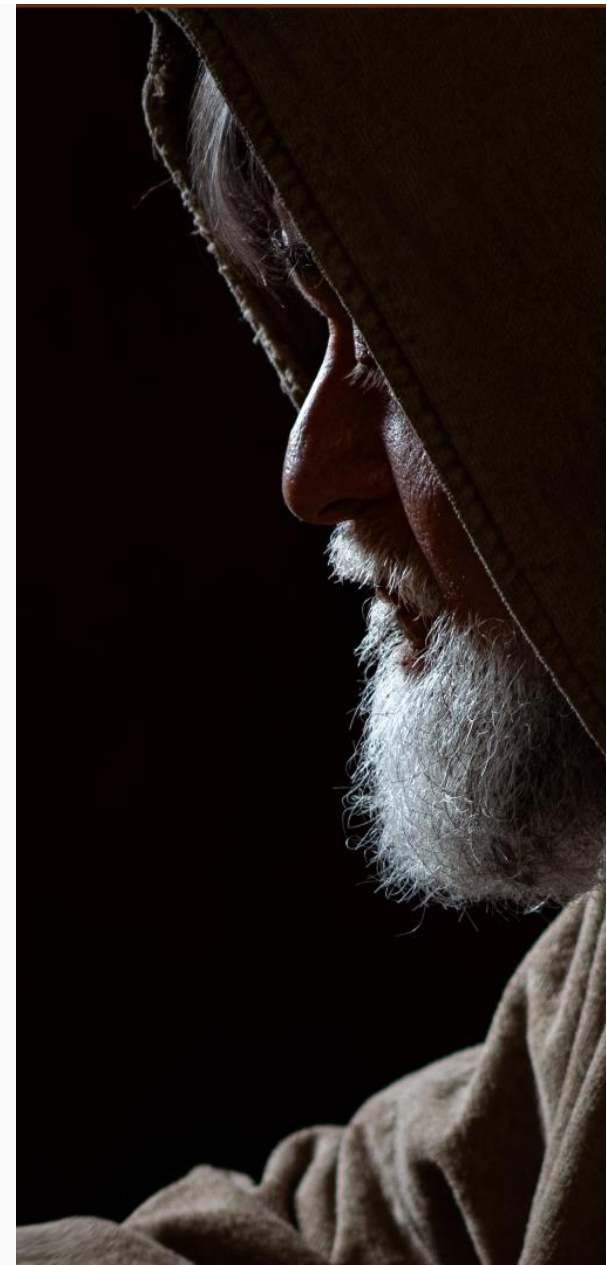
*申命記28:36～37



告白 イスラエルの罪 ダニエル9:14~15

【主】はそのわざわいを下そうと待ち構えていて、それを私たちの上にもたらされました。私たちの神、【主】のなさったみわざはすべて正しく、私たちが御声に聞き従わなかったからです。

しかし今、私たちの神、主よ。ご自分の民を力強い御手をもってエジプトの地から導き出し、今日あるとおりに名を成された神よ。私たちは罪を犯して、悪を行いました。



告白 主の御怒り ダニエル9:16

主よ。あなたのすべての義のわざにしたがって、どうか御怒りと憤りを、あなたの都エルサレム*から、あなたの聖なる山*から去らせてください。私たちの罪と私たちの先祖たちの咎のゆえに、エルサレムとあなたの民が、私たちの周囲のすべての者にとってそしりの的となっているからです。

*都エルサレム = 聖なる山

…エルサレムに向かい、祈り続けていた

■ 御怒りを去らせる = 約束の地への帰還



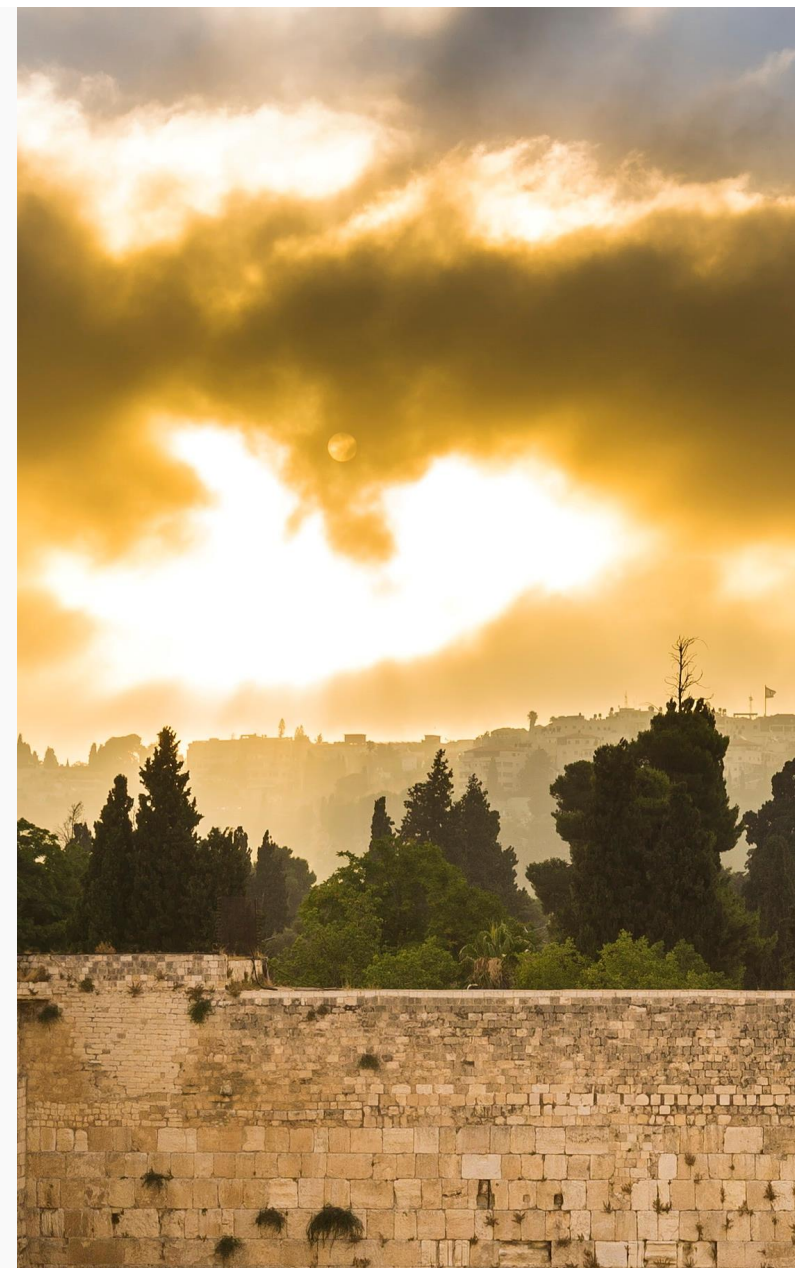
告白 御顔の光を ダニエル9:17

私たちの神よ。今、あなたのしもべの祈りと願いを聞き入れ、主ご自身のために、あなたの荒れ果てた聖所に御顔の光*を照り輝かせてください。

*主の栄光(シャカイナグローリー)

■イスラエルが罪を重ねた末、神の栄光は、神殿を離れ去った。(エゼキエル11:23)

➔主の臨在のない神殿はむなしだけ



告白 嘆願の根拠 ダニエル9:18

私の神よ。耳を傾けて聞いてください。目を開いて私たちの荒れすさんださまと、あなたの御名がつけられている都をご覧ください。私たちが御前に伏して願いをささげるのは、私たちの正しい行いによるのではなく、あなたの大いなるあわれみ*によるのです。

■イスラエルにも、人にも、正しさはない。

➡約束の神の憐れみ*にすぎるだけ

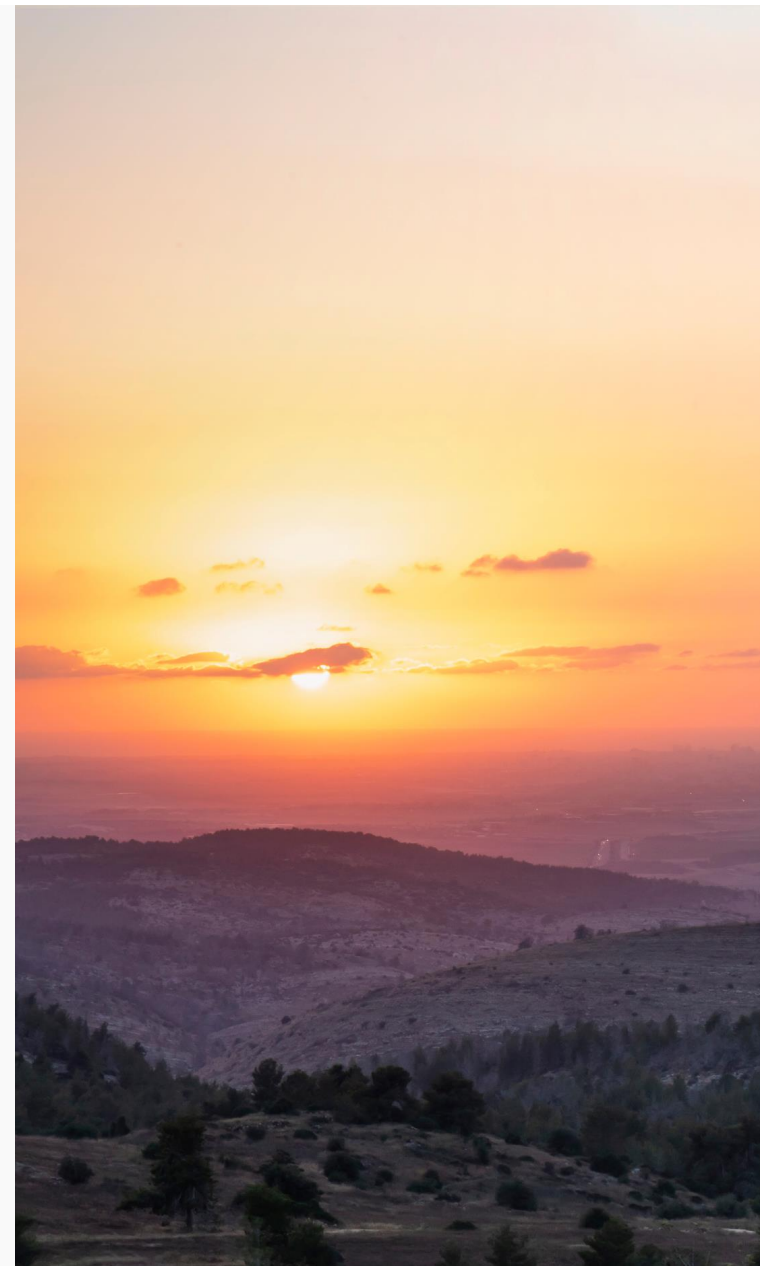


告白 御名のゆえに ダニエル9:19

主よ、聞いてください。主よ、お赦してください。主よ、心に留めて事を行ってください。私の神よ、あなたご自身のために、遅らせないでください。あなたの都と民には、あなたの名がつけられている*のですから。」

*エルサレム、イスラエル

- ダニエルが強く訴えるのは、
主の計画が成し遂げられ、
主の御名が地でほめたたえられること





II. 七十週の預言

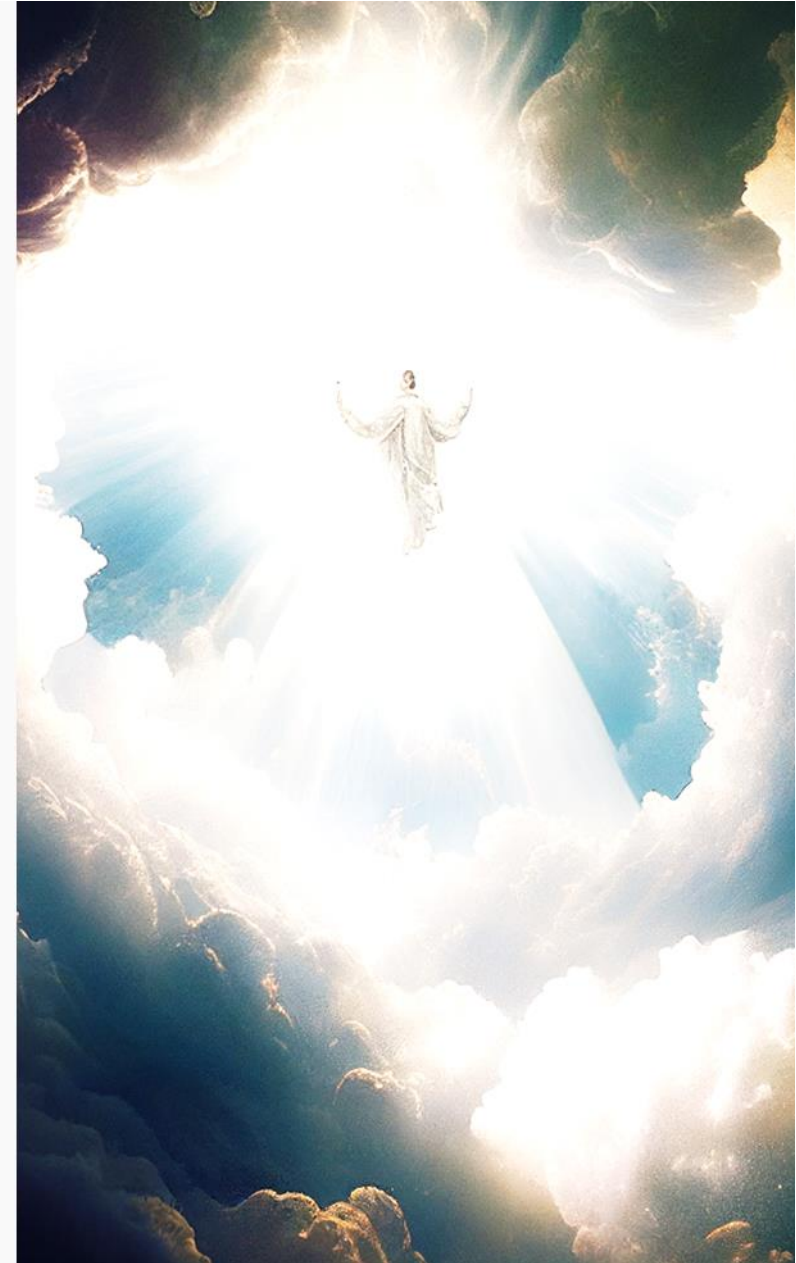
ダニエル書9章20～27節

エルサレム・黄金門

幻 御使いの出現 ダニエル9:20～21

私がまだ語り、祈り、自分の罪と自分の民イスラエルの罪を告白し、私の神の聖なる山のために、私の神、【主】の前に伏して願いをささげていたとき、すなわち、私がまだ祈りの中で語っていたとき、私が初めに幻の中で見たあの人ガブリエル*が、すばやく飛んで来て私に近づいた。それは夕方のささげ物を献げるころであった。

*12年ぶり、二度目の出現



幻 一つのみことば ダニエル9:22～23

彼は私に悟らせようとしてこう告げた。

「ダニエルよ。私は今、**悟り***によってあなたを賢明にさせようとして出て来た。

あなたが願いの祈りを始めたとき、**一つのみことば***が出されたので、私はそれを伝えに来た。あなたが特別に愛されている者だからだ。**そのみことば***を聞き分けて、**その幻***を理解せよ」

- 信仰者ダニエルの祈りへの応答として啓示が与えられる。



啓示 定められた七十週 ダニエル9:24

あなたの民とあなたの聖なる都について、
七十週が定められている。それは、
背きをやめさせ、
罪を終わらせ、
咎の宥めを行い、
永遠の義をもたらし、
幻と預言を確証し、
至聖所に油注ぎを行うためである。

【七十週の意味】

- …イスラエルの悔い改め
- …立ち返り・回心
- …罪の贖い
- …永遠の救い
- …すべての預言の成就
- …栄光のメシアの臨在

啓示 七週と六二週 ダニエル9:25

それゆえ、知れ。悟れ。

エルサレムを復興し、

再建せよとの命令が出てから、

油注がれた者、君主が来るまでが七週*。

そして苦しみの期間である六十二週の間、

広場と堀が造り直される。

【歴史的出来事】

…キュロス王の勅令

…神殿の再建

…中間時代

ヘロデの大改修

* “七(シャブオット)の” …日に限らない。

“七倍(創4:15)” →七十週の預言 = “7の70倍の預言”

啓示 メシアと反キリスト ダニエル9:26

その六十二週の後、

油注がれた者*は断たれ、彼には何も残らない。

次に来る君主*の民*が、都と聖所を破壊する。

その終わりには洪水*が伴い、

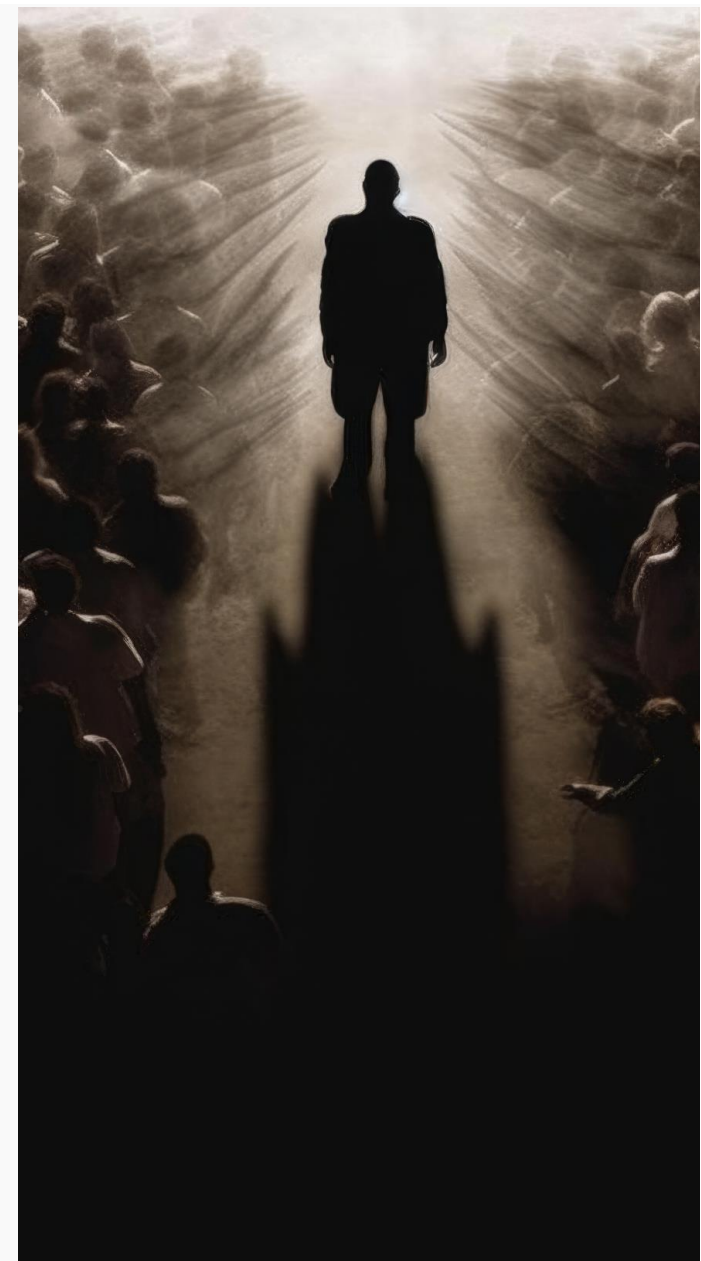
戦いの終わりまで荒廃が定められている。

*受難のメシア …十字架の贖いを成し遂げる

*次に来る、メシアのような君主 = 反キリスト

*反キリストの帝国の民 → ローマ

*象徴的には“軍隊” = 異邦人の大軍勢



啓示 大艱難時代 ダニエル9:27

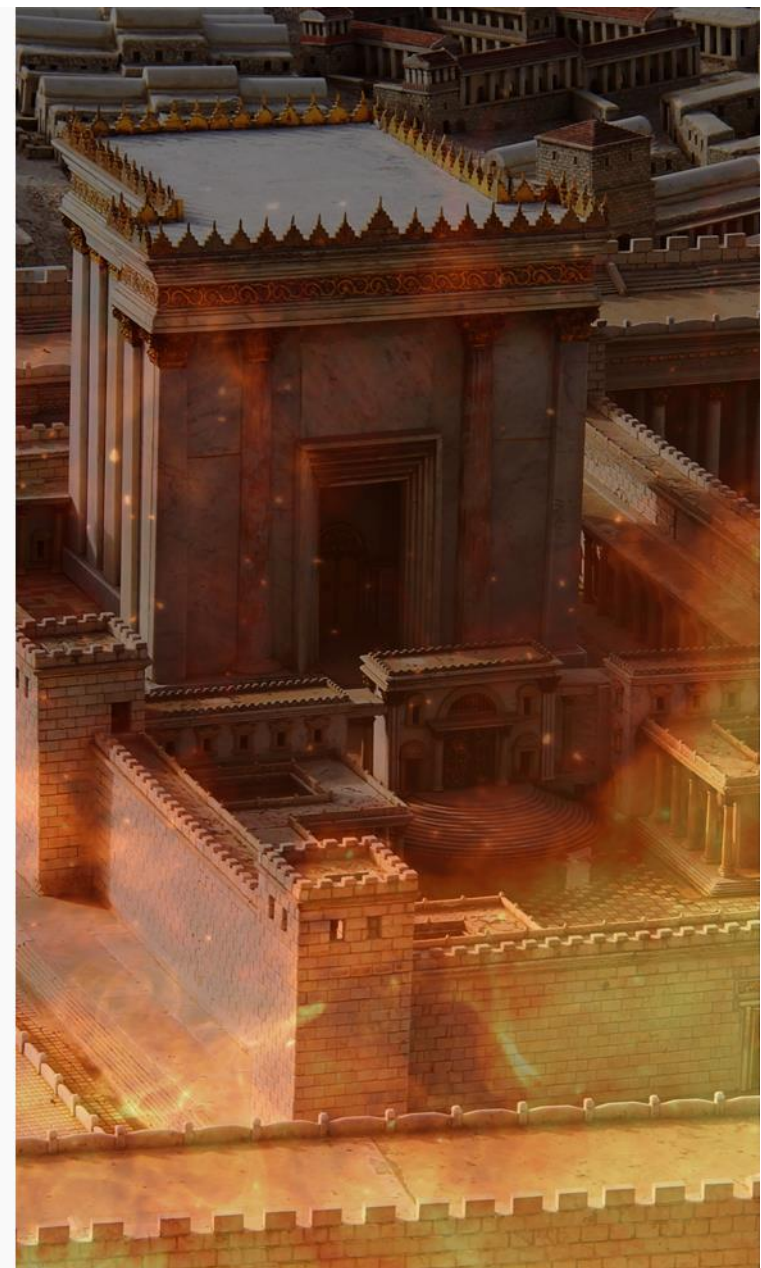
彼*は一週の間*、多くの者と堅い契約を結び、半週の間*、いけにえとささげ物をやめさせる。忌まわしいものの翼の上に、荒らす者*が現れる。そしてついには、定められた破滅が、荒らす者*の上に降りかかる。」

*反キリスト

…“荒らす忌まわしいもの(マルコ13:14)”

*“七の期間”

*“七の半分” = 3年半





Ⅲ. まとめと適用

赦しの時代に赦され、赦しを宣言しよう

神の時と人の時

■ ペテロの手紙第二3:8～10

しかし、愛する人たち、あなたがたはこの一つのことを見落としてはいけません。主の御前では、**一日は千年のようであり、千年は一日のよう**です。

主は、ある人たちが遅れていると**思っているように**、約束したことを遅らせているのではなく、あなたがたに対して**忍耐しておられる**のです。だれも滅びることがなく、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのです。

しかし、主の日は盗人のようにやって来ます。その日、天は大きな響きを立てて消え去り、天の万象は焼けて崩れ去り、地と地にある働きはなくなってしまいます。

神の時と人の時は違う

- 永遠の神は、時間を超越した存在。歴史の支配者。
例) 漫画家は、自由に時間を描き、すべてのコマを俯瞰可
- 神にとっては、一日も千年も同じ。時間も神の創作物。
→ 人間の視点から年単位の誤差にこだわっても無意味
- いつ来るか分からない主の日に備えているのが今の時代
→ カウントダウンはできない。時間への執着は捨てること

人は時に支配されている

神は時を支配している

世界帝国の変遷 「四頭の獣」と「七十週の預言」

獣	内容	王の権威	力	特徴	七十週
①獅子?!	バビロニア	★★★★	★	絶対王制	七十週
②熊?!	ペルシア	★★★	★★	立憲君主制	
③豹?!	ギリシャ	★★	★★★	民主制 (独裁)	
④異形	ローマ以降	★	★★★★	共和制 (帝国主義)	
十本の角	十の王国	—	—	統一と分裂	空白期
一本の角	反キリスト	★★★★	★★★★	サタンの化身	1週

七十週・七の七十倍の時代

七の七十倍の時代

七の七倍の時代	49年	復興時代	エルサレム神殿再建、復興
七の六二倍の時代	434年	中間時代	ペルシア➡ギリシャ➡ローマ エルサレムの完全復興 メシア初臨、エルサレム入城
空白の時代		今の時代	メシアの十字架の贖いと復活 エルサレム陥落 普遍的教会の成長、福音宣教
七の時代	7年	大艱難時代	反キリストの支配 イスラエルの民族的回心 メシア再臨

七十週の預言

終末への大きな流れをつかもう!!

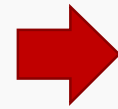


神殿再建



ローマ勃興

メシア初臨



反キリスト

民族的回心

メシア再臨

ダニエルに学ぶ、七十週の預言の受け止め方

- エレミヤの預言から、70年の解放が間近と知ったダニエル。
起算点は不明、いつ終わるかカウントダウンはできない。
→ 時が明確でないからこそ、切迫して、とりなし祈った
- 初臨のメシアを待望した人々も、明確な時は分からなかった。
→ 東方の博士たちは、栄光の星を見て、確信に至った。
- 反キリストの出現、メシアの再臨の時は、全く分からない
→ **さらなる切迫感をもって祈り、備えること!!**

聖書が示す七十の意味

- ノアから増え広がった世界の民族が、70 → 全世界の民族
- エジプトに下ったイスラエルの先祖が、70人 → 全イスラエル
- 捕囚から解放までの期間が、70年 → 捕囚の全期間
- 終末までの時代は、「70週(七の七十倍の時代)」
→ 終末までの全期間

70が示すのは、歴史を支配される神の計画の完全さ

七十週(七の七十倍)に言及されたメシア

■ マタイ18:21~22

そのとき、ペテロがみもとに来て言った。

「主よ。兄弟が私に対して罪を犯した場合、何回赦すべきでしょうか。七回まででしょうか。」

イエスは言われた。「わたしは七回までとは言いません。**七回を七十倍***するまでです。」

■ 「**七回を七十倍***」は、「70週(七の七十倍)」と同じ表現。

➔ 続いたたとえば、1万タラントの借金を免除されながら、100タラントの借金を赦さず王に裁かれた者の話

七の七十倍の時代に求められること

- 艱難期の1週(7年)の最後に、メシアが再臨。
反キリストと悪の軍勢、すべての不信仰者を裁かれる。
- 七の七十倍の時代である今、私たちに求められるのは、最終的な裁きをもたらす、主イエスに委ねること。
- 七の七十倍の時代である今は、裁きの前の猶予期間。
主イエスによる罪の赦しを告げ知らせ、悔い改めを訴えよう。

★ 赦しの時代に赦され、赦しを宣言しよう ★

- ダニエルのように、イスラエルをとりなし、祈ろう。
真実のメシアを信じる信仰へと悔い改めて導かれるように。
- 私たちは皆、返済不可能な借金(罪)で破綻したギャンブラー。
滅びに陥るだけの人生を、悪の胴元に賭けてきた。
しかし、ただ、福音を信じて、滅びを招く負債を赦された。
- メシアの裁きが下される時、すべての罪人は永遠の滅びに至る。
猶予された今この時、救いの福音を告げ知らせていこう。

てん とう
「天のお父さま。わたしの^{つみ}罪をゆるしてください

わたしは、神のみ^{かみ}子^こイエス・キリストが、

①わたしの^{つみ}罪^{あがな}を^{じゅうじか}贖^しう^しのために十字架で死に、

②墓^{はか}に^{ほうむ}葬^むられ、

③三日^{みっかめ}目に^{ふっかつ}復活^{しん}した^{こと}、を信じます。

イスラエルの民^{たみ}が、この福音^{ふくいん}を^{しん}信^じじて^{すく}救^{すく}われますように。

わたし^{くる}を^{もの}苦し^{つみ}める^{もの}者の^{つみ}罪^{しゅ}をゆるし、主^{しゅ}イエスの御手^{みて}にお^{ゆだ}委^{ゆだ}ねします。

あた^{めぐ}えられた^{じだい}恵^{めぐ}みの^{じだい}時代に、救^{すく}いの福音^{ふくいん}を^つ告^しげ^し知らせます。

どうか私^{わたし}を御^{みたま}霊^みで満^みたし、主^{しゅ}の使^{しめい}命^{つか}に遣^{つか}わしてください。

主^{しゅ}イエス・キリストのみ^な名^いによって祈^{いの}ります。 アーメン」